

開催行事報告



緋恩衣に立帽子を着用した正装姿の安本由道ご住職

緋恩衣（ひおんえ）

「緋色」とは黄色味のある鮮やかな赤色のこと。一般に「茜色」は「やや暗い赤」、緋色は「鮮やかな赤」のイメージとして区別されます。緋の衣は、晋山式結制を経て大和尚となると、被着することができ、また宗門への今日までの功労が認められることによって被着が許されるものを「緋恩衣」といい、被着時に「立帽子」を着用することができます。

この日午前中、東京に桜の開花宣言がなされた3月21日、午後1時から三笑亭夢太朗師匠による落語二題「長屋の花見」「竹の水仙」を大いに堪能したあと、緋恩衣（※）に立帽子着用と正装の安本由道ご住職を導師に、厳かに春の彼岸会法要が営まれました。

午前中の雨も上がり、お墓参り日和となつたためか、本堂の通路にも椅子が置かれ、いつになく大勢の檀信徒が参列し先祖供養を行いました。

春彼岸会法要

平成31年3月21日（春分の日・木）

落語を鑑賞し彼岸会法要を営みました



参列者の皆様でいっぱいになった本堂



法要に先立って落語を披露する三笑亭夢太朗師匠

第1回やすらぎの写経会を開催

令和元年6月8日（土）

穏やかなひと時を過ごしました

新年度第1回やすらぎの写経会が6月8日（土）午後1時から開催されました。鈴木百合子研修委員の指導で、参加25名の皆様が「般若心経」を心静かに写経しました。

次回は、11月9日（土）に開催されます。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。



小学1年生もご両親と参加しました

萬福寺護持会

総会を開催しました

萬福寺護持会総会が6月10日に開催され、前年度事業報告・同決算、新年度事業予定・同予算がそれぞれ原案どおり承認されました。山門内、正面階段左脇の掲示板の報告をご覧ください。